

電子マニフェスト導入に係る資料の作成業務に関する提案書作成・審査要領

本書は、電子マニフェスト導入に係る資料の作成業務に関する提案書の作成、審査等の要領を提示するものである。

1. 提案書作成要領

(1) 提案書の構成及び作成方法

以下に、電子マニフェスト導入に係る資料の作成業務に関する提案書の評価基準表（以下「評価基準表」という。）から「評価項目」及び「要求要件」を転載する。

評価項目	要求要件
1. 業務の内容に対する理解度	仕様書の記載を踏まえ、業務の実施に当たって工夫する点、留意する点を記述すること。
2. ガイドブックのデザイン・構成等	仕様書の記載を踏まえ、ガイドブックの表紙及び現行ガイドブックの P6-7（マニフェスト制度の目的）のデザイン案、及び説明動画の構成案等を提案すること。 より初心者にわかりやすい内容、構成上の工夫を提案する。
3. 説明動画の構成等	ガイドブックと連動した説明動画構成等を提案すること。 その際、次の点について具体的な記述をすること。 ・ガイドブックが動画と連動しており、動画の資料として機能するための工夫を提案する。 ・章ごとのチャプター設定を想定し、動画の構成を提案する。 ・動画（アニメーション・実写）を効果的に活用できる部分を示し、どのような活用をするか提案する。 ・動画内の文言、ナレーションの一部の軽微な変更が必要となった際の編集方法等について提案する。 ・その他提案事項
4. 業務の実施体制・方法	作業の実施体制・方法、具体的なスケジュール案を記述すること。
5. 組織の実績	過去の類似業務の実績を記載すること。
6. 組織の特長	組織のアピールポイントを記載すること。

提案書は、上記評価項目に基づき、次に従って作成すること。

「1. 業務の内容に対する理解度」から「6. 組織の特長」までの各評価項目を目次とし、それぞれの要求要件に基づき提案書を作成すること。

記述上の様式は特に定めていない。必要性に応じ、各評価項目内を細分化して目次立てすることは差し支えない。

提案書は、難解な専門用語には注釈を付す等、専門家以外でも理解でき、審査可能なように平易な記述に努めること。

(2) 提案書の提出部数等

提案書は、資料を含めて綴じ込んだ1式を6部提出すること。

用紙はA4判とし、A3判を使用する場合はZ折にすること。

2. 提案書の審査

(1) 総合評価点の計算方法

- ・ 総合評価点＝技術点＋価格点
- ・ 技術点＝基礎点＋加点（満点150点）
 - * 技術点は、当センターに設置する提案書審査員の採点結果の平均値を算出し、小数点第三位以下を切り捨てたものとする。
- ・ 価格点＝ $100 \times (1 - \text{入札価格} \div \text{予定価格})$
 - * 価格点は、上記式により数値を算出し、小数点第三位以下を切り捨てたものとする。

(2) 基礎点部分の採点

技術上の基準を満たす場合に、当該基礎点全部を得点とする。

技術上の基準に係る記述がない場合は0点とする。

基礎点に1つでも0点がある場合、その提案書は不合格とする。

(3) 加点部分の採点

提案内容に応じて下表の評価基準に基づき加点を付与する。

評価 ランク	評価基準	項目別得点	
S	十分満足できる	10	5
A	満足できる	8	4
B	平均レベル	6	3
C	平均よりやや劣る	4	2
D	平均よりかなり劣る	2	1
E	満足できない	0	0